

会 議 録

会 議 名	令和5年度第3回3市ごみ減量推進市民会議		
事 務 局 (担 当 課)	小金井市ごみ対策課、日野市ごみゼロ推進課、 国分寺市ごみ減量推進課		
開 催 日 時	令和6年2月14日(水) 午前10時00分～12時00分		
開 催 場 所	日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設2階 多目的室		
出 席 者	委 員	<出席者：13名> (学識) 宮脇委員長 (日 野 市委員) 小野寺委員・加納委員 (国分寺市委員) 八ツ藤委員・森田委員・佐藤委員・石垣委員 (小金井市委員) 林委員・齋藤委員 (行政) 小澤委員(日)・栗原委員(国)・今井委員(小) 鈴木委員(浅)	
	事 務 局	日 野 市：河本主任 国分寺市：西脇係長 小金井市：高田係長・立崎係長	
欠席者	伊藤委員(日野市委員)、高松委員(日野市委員)、續木委員(小金井市委員)		
傍聴者の可否	可	傍 聴 者 数	0人
会 議 次 第	1 小委員会からの最終報告 (1) 情報発信・環境学習グループ (2) 減量グループ 2 最終報告の取り扱いについて 3 その他 4 閉会		
会 議 結 果	別紙審議経過のとおり		
提 出 資 料	別添のとおり		
そ の 他			

事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第3回3市ごみ減量推進市民会議を開催いたします。</p> <p>配付資料の確認をさせていただきます。令和5年度第3回3市ごみ減量推進市民会議次第。小学生向け「私たちの可燃ごみ処理施設」の発行について（報告）。浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設小学生見学用小冊子「私たちの可燃ごみ処理施設」。3市連携の特集記事の掲載について（提案）。ご家庭における食品ロス意識調査WEBアンケート集計結果報告。令和5年度第2回3市ごみ減量推進市民会議会議録の合計6点となります。なお、不足等ございましたら、事務局までお申出のほうお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、宮脇委員長に御挨拶をいただきまして、その後の進行をお願いしたいと思います。では、委員長、お願いいたします。</p>
宮脇委員長	<p>皆さん、おはようございます。非常に気候の変動も激しく、今日はまた暖かくなるということでございますけれども、皆様、今年に入ってから様々なことがございます。今日、久しぶりにお会いする方々が多いかと思っておりますけれども、やはりごみの問題というのはいろいろな面から考えていかなければならないということですが、まずは身近なところから、きちんと市民の目線で、どのようなことができるのかということを取り組んでいくというのが、この3市ごみ減量推進市民会議の役目でございます。</p> <p>本日は、この2年間、皆様方が丁寧に議論していただいて、具体的に作業を進めていただいた内容について御報告していただくこととなります。ぜひ相互のグループの内容についても理解をいただいて、また、さらに改善していくとか、これからのことについての御意見などをいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより会議を開催したいと思います。</p> <p>会議を始める前に、傍聴の有無について事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日、まだ傍聴者がお越しになっておりません。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。この会議、原則公開となっておりますので、傍聴者の方が後から来られたときには入っていただくことにしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議事次第に沿って進めてまいりたいと思っております。次第を御覧いただいて、1つ目でございます。今日は最終報告ということで、2年間の成果報告でございます。</p> <p>まず1つ目から順番に参りましょう。小委員会の報告です。まず、情報発信・環境学習グループより報告をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
八ツ藤委員（国）	<p>国分寺市の八ツ藤です。よろしくお願いいたします。情報発信・環境学習グループから報告をさせていただきます。</p>

まず、この度、皆さんのお手元に既にお配りしてございますけれども、「私たちの可燃ごみ処理施設」が浅川清流環境組合より発行されましたので、その作成経緯等につきまして御報告いたします。

私は、こちらの小冊子のほうは今、配付されたばかりなので、まだ中身を見ていないのですけれども、また後ほど皆さんもゆっくり御覧いただければと思います。本件につきましては既に何回か御報告しておりますので、これからの説明でダブる面もあると思いますけれども、御容赦いただければと思います。

それでは、資料のほうを御覧いただきたいと思います。まず、作成理由でございますけれども、御存じのように、小学4年生は、総合的な学習といたしまして、ごみの処理と再利用の授業を年十数時間受けております。この授業の一環として、こちらの浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設も見学しているという状況になっております。また、浅川清流環境組合、現在作成していただいている見学用の施設案内がございますけれども、この資料のほうは可燃ごみ処理の工程図の説明が中心でございます。3市の共同処理の目的とか、あるいは焼却後の灰の処理、それから発電の状況、公害対策等の幅広い説明はございませんので、小学校の補助教材としては不十分かなと思われまふ。今後、見学児童数の増加も予想されますので、可燃ごみ処理施設の説明のほかに、3市の紹介と共同処理の目的、ごみ・資源物処理の流れ、3市共通のごみ問題等を織り込んだ、各学校で補助教材としても利用できるような冊子を作ることになりました。

次に、作成の経緯でございますけれども、もう既に第1期と第2期の市民会議のほうで、3市の要望書の中におきまして、小学生向けの分かりやすい冊子、副読本の作成を要望してございました。これを受けまして、我々、第3期の市民会議のスタート時点、令和4年7月に、このとき情報グループ会議も開催しましたけれども、行政委員より、既に市民会議のほうで要望していた冊子の作成の方針の表明がございました。

これを受けまして、令和4年7月から12月にかけて、情報グループ会議を4回開催しまして、この小冊子の内容を検討いたしまして、翌年の令和5年2月の全体会議で皆様にページ割り、あるいは各ページの素案を報告してございます。

次に、令和5年6月に、浅川清流環境組合と株式会社コモダ印刷の間で見学者用冊子作成業務委託契約を締結いただいております。

次のページですけれども、いよいよ編集・校正作業ですけれども、7月から12月にかけて、これは事務局と組合の御担当の方が中心になりまして、印刷会社との編集作業、校正作業を実施していただいております。これと並行いたしまして、我々情報グループも、初校から3校の段階で計4回情報グループ会議を開きまして、校正作業を実施したところでございます。

また、7月と11月に全体会議が開催されましたので、そのときに進捗状況を報告させていただいております。同時に、委員の皆さんの御意見も伺っております。

この間、事務局のほうでは、本冊子の内容につきまして、3市の教育委員会にも意見を求めたというふうに聞いております。

それで、令和6年1月にコモダ印刷が1万部を印刷の上、浅川清流環境組合のほうに計画どおり納品していただいたということで、これが皆さんのお手元にある小冊子になっております。

次に、冊子のコンセプトも既に御説明してございますけれども、見ていただければ分かるということですが、1番目としまして、この冊子は、施設見学時の説明資料に御利用いただくとともに、児童が持ち帰って補助教材としても利用できる充実した内容にしたいということ。それから、2番目としまして、可燃ごみ処理施設の説明以外に、3市の紹介、共同処理の目的、ごみ・資源物処理の流れ等を記載しまして、児童が自分の住所地以外の2市にも興味や親近感が湧くような内容にしたいということ。それから、3番目としまして、ごみ処理が多数の人によって行われ、施設周辺の人たちの理解と協力で成り立っているということの子供たちに理解してもらって、児童が関係者への感謝と、それから自分たちも責任があるということを自覚できるような内容にしたいということです。最後に、世界的な課題でございます食品ロスの問題やプラスチックごみ問題を取り上げまして、自分たちに何ができるかを考える動機づけにもなればよいなと思っております。これがコンセプトでございます。4番目、冊子の概要、これはもう既に皆さんにお配りしてございますので、この部分は省略をさせていただきます。

最後に、この冊子の活用の案、あくまでも案ですけれども、これは期待も含めてお願いしたいと思えます。本冊子は、小学生の可燃ごみ処理施設見学時施設説明の資料として御利用いただくと同時に、各小学校には、小学4年生の総合的な学習、ごみの処理と再利用というのを勉強しておりますけれども、この補助教材としても有効に活用することを期待したいと思っております。

それから、配付基準でございますけれども、これは令和6年4月からで、当然、今から配付してもいいのですけれども、時期的に小学生が見学をするのは通常、毎年6月から11月にかけてこちらの施設を見学しておりますので、配付の時期のピークとしてはその辺がピークかなと思っております。4月ぐらいから配付したらどうかということです。

それから、2番目としまして、3市の見学校以外から、場合によっては補助教材として利用したいという希望があった場合には、ぜひ配付をお願いしたいと思います。

それから、個人の見学者、当然、4年生以外の児童も来ると思えますので、そういう方から希望があれば配付していただくということがいいのではないかと思います。

なお、最後に感謝の気持ちを表したいと思うのですが、本冊子の作成作業におきまして、事務局と浅川清流環境組合の御担当の方には、印刷会社との折衝、編集・校正作業等、御負担は大変大きかったと思えます。的確に御対応いただきまして、我々としても感謝申し上げますし、また、浅川清流環境組合には、今後この冊子をぜひ有効に活用していただくようお願いをしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

次に、3市連携の特集記事の掲載について説明します。資料は別の資料になりますけれども、御覧いただきたいと思えます。

この提案理由でございますけれども、過去2回、我々、市民会議の提案によりまして、3市が発行しておりますごみ情報紙、市報も含みますけれども、この情報紙に3市連携の浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の特集記事を掲載しておりますけれども、3市の市民に継続して情報を提供し、理解と協力を得ることが大変重要だと思っておりますので、3月発行の3市のごみ情報紙にも3回目の特集記事を掲載することを提

案するというものでございます。

なお、市民会議の所掌事項というのがございますけれども、①から③に情報発信の項目がございますので、3市の市民の皆さんへの情報発信は我々市民会議の重要な役割になっていると思っております。

次に、特集記事の内容、これもあくまでも案でございますけれども、まずは可燃ごみ処理施設の状況を説明していただきたいということ。

2番目としましては、3市の共同事業、昨年も10月ぐらいから水銀回収キャンペーンも3市でやっていただいておりますし、コンタクトレンズの空きケースの回収等もやっていただいておりますので、せっかく3市が共同でこういうことをやっていただいているということで、市民の皆さんにもPRしたらどうかということ。

3番目としまして、市民会議の活動紹介です。第3期については、1つの形ができたということもありますので、そういうところのPRも含めて、「私たちの可燃ごみ処理施設」の発行とか、できれば写真入りで紹介していただくとか、食品ロスの市民アンケートの結果、後から説明があると思うのですけれども、この辺も市民の皆さんに情報発信をしていただければと思っております。

4番目として、これは毎回やっていただいておりますけれども、市長メッセージの掲載です。3年間あるいは4年間の総括と地元の皆様への感謝とか、それぞれ市民の皆さんへのさらなる分別の徹底と可燃ごみ減量ということで、こういう市長メッセージを掲載していただいたと。なお、過去2回は市民会議のメッセージも掲載していただいておりますけれども、今回は具体的に活動紹介できると思いますので、今回は掲載しなくてもいいと思います。

発行時期ですけれども、令和6年3月発行ということで、ただ、各市とも発行日とか、記事のスペースとか、まちまちだと思いますので、当然のことながら、これは各市の状況に応じて柔軟に対応していただければと思います。3月発行ですから、既に原稿の締切日の関係で、各市とも具体的に対応していただいていると思いますけれども、ぜひ効果的な情報発信をよろしくお願いしたいと思います。

以上で情報グループの報告を終わります。

どうもありがとうございました。ただいま情報発信・環境学習グループの報告について御紹介をいただきました。

これから御意見を皆様からお伺いしたいと思います。毎回ですけれども、議事録作成のために録音しております。御発言の前にお名前を言っていただけてから発言のほうをお願いいたします。

それでは、皆様、いかがでしょうか。御質問でも結構ですし、コメント、御意見を承りたいと思いますが、よろしくお願いいたします。

冊子については、八ツ藤委員からも今、御紹介いただいたように、経緯の細かなところから実際の目的、それから、今後の活用方法ということでも御提案いただいております。3市以外でももし必要があるということであれば配付してほしいとか、個人の見学者の方についても希望者にはということでもございました。少ないとは思いますが、小学校以外でお子様連れで来ていただけるような意識の高い市民の方もいらっしゃるかと思いますので、ぜひそういう対応をしていただくといいかなと私も思いました。

皆様のほうから御質問とか御意見とかございますでしょうか。

宮脇委員長

	<p>冊子のほうは基本的には報告ということでございますので、よろしいかと思いますが、特集記事の掲載については、項目が多数出ておりますけれど、何かこの辺の部分の特にいっぱい紙面としては取ってほしいとか、そういうのがもしございましたら伺いたいなと思います。いかがでしょうか。</p> <p>特集記事の1番、可燃ごみ処理施設の状況については、場合によっては適宜、今も既に3市で毎回、今こんな状態ですというのが時々、広報とかその他のところでちょっとずつは出ていたりとか、ごみ関係の情報紙が作られている市もありますし、その辺りはいいかなと思いますが、市民会議の活動あたりを、私としては多めに取っていただくといいかなというふうに思っている次第です。</p> <p>いかがでしょうか。お願いします。</p>
林委員（小）	<p>これから御報告するものですが、食品ロスの市民アンケートの結果なんですが、これの報告を活動紹介に載せるということになると、全体として特集記事のボリュームをどのぐらいで考えるか、それによって大分変わってくると思うんです。多分、今日、御報告差し上げるような内容全体を載せるのはもともと不可能ですから、その中のエッセンスだけを切り出すにしても、ボリュームをどのぐらいにするかというのを明確にしておかないと、作れないなと。3月ということなので、私個人的にはそこまで載せるという意識が強くなかったんですが、たしか去年の11月の会議でそういう御意見があったんですが、各市とも必ずしも同じ時期に同時に出すというお話ではまだ合意できていなかったと思いますので、ボリュームの話を議論いただいて、それで内容を絞り込みたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。項目としては特に御意見はないということだと思います。</p>
八ツ藤委員（国）	<p>多分、既に各市とも原稿が出来上がっていると思うのですよ、締切りの関係で。だから、むしろその対応を聞いたほうが早いかもしれないです。もう変更できない形で、時期的には、3月だと、今2月14日ですから、原稿はもう入れている可能性が十分あるんですよね。</p>
林委員（小）	<p>各市がもしおっしゃるように出来上がっているのであれば、それを言っていただければいいということですね。</p>
宮脇委員長	<p>そうですね。お願いします。</p>
今井委員（小）	<p>この提案を既に小委員会のほうでいただいているので、その考え方として、今3市のほうで整理を進めてきているのが、今年の3月に発行する市報、広報誌等で、これらの御提案いただいた内容についてある程度しっかり対応していこうというところになっています。今、林委員からお話がありましたように、誌面はどうしてもスペースが限られてくるので、食品ロス削減の意識調査のアンケート結果については、詳細に書くというよりも、こういった取組を行いましたというレベルの記述にとどまっていますけれども、今回は3市ごみ減量推進市民会議の皆さんからパンフレットも出来上がりしましたし、食品ロスアンケートも取りまし</p>

	<p>たということで、一定の成果が上がってきておりますので、そういったところをしっかりと報告していこうという趣旨で記事の掲載は進めてきています。</p>
石垣委員（国）	<p>何かQRコードとかで読み込んで、結果は全部こちらみたいなことはできないんですか。</p>
今井委員（小）	<p>その場合、アンケートの結果報告を上げたウェブサイト誘導していく形になると思うんですけども、その部分についてはまだ3市の間で整理が進んできていなくて、例えばどこかの市に集中してアクセスできたほうがいいのか、それぞれの市のホームページに掲載させていただいたほうがいいのか、そういったところはまだ整理が整っていませんので、その辺りのウェブサイト上での公表の仕方については、もう少しお時間いただければと思います。</p>
石垣委員（国）	<p>紙だとやっぱり内容が限られてきますし、興味のある方はQRコードを読み込んででも見ると思うので、この先は紙というよりも、そういうふうなものをよく活用してもらったほうが、若い人ってやっぱりQRコードを読み込んで見るので、そうすると、若い人を中心に、そうか、こうなんだというのを分かってもらえていいんじゃないかなと思うので、今後のことでお願いします。</p>
今井委員（小）	<p>参考にさせていただきます。ありがとうございます。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。もう日程的な、3月というところから、もう既に各市で作業を少しずつ進められているということで、今の御報告ですと、やりましたということのみならずということだったと思いますし、石垣委員からもお話がありましたけれども、公表は分かりませんが、私が3市のホームページとかをちらちらと見ると、各回の3市ごみ減量推進市民会議の会議資料、議事録というのは全て公開されているんですね。なので、今回の報告もそちらに載るといいますので、そっちを見てくださいますか、QRコードではまだ、今言われたように時間差がありますので、ホームページに載っているのを見ていますと、若干時間差があるので、多分3月のときにはまだ位置が決まっていなかったかもしれないので、できれば、ホームページに載せていただくのか、今言われたように、3市でそろえてというのが難しければ、それぞれの市のごみに関連するサイトに掲載中ですみたいなものを載せていただくとか、どこに載っているんですということが書いてあると、QRコードがなくても市のホームページぐらい見てくれるかな。本当はQRがいいんですけどね。</p>
石垣委員（国）	<p>本当はね。そのまま読み込めるので。</p>
宮脇委員長	<p>間に合えばということかなと思いました。ありがとうございます。 そのほかはいかがでしょうか。項目については今言われたように、時期的なところと分量の話があって、市によって、もしかすると誌面のスペースが違うかもしれませんので、基本的には掲載内容は、今御提案いただいた内容の中からセレクトというか、選んでいただいて、そのスペ</p>

ースに合うように各市の行政委員の方が頑張ってくださいということでしょうかね。そんな形で皆様の合意が取れば、3市のほうで進めていただくことにしたいと思います。ありがとうございます。

また追加があれば、後ほど最後にまた御意見を伺いたいと思いますので、それでは、一旦ここで情報発信・環境学習グループの御発表はありがとうございます。本当に非常に大きな成果が出ていたのではないかなと思っております。

では、続きまして、次は減量グループからの報告をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

林委員（小）

減量グループの林です。

今お手元に配付されている資料、ご家庭における食品ロス意識調査WEBアンケート集計結果報告、これについて御報告したいと思います。

今まで何度か途中の段階で御報告しておりまして、基本的には大きく変わってきておりませんが、最後のところにまとめたところが少しありますので、そこを重点的に御報告したいと思います。

昨年の10月に実施しまして、505件のアンケート結果を得ました。その505件のアンケート結果をまとめたものが今日の御報告の資料で、頭には、東京都の「食べものに、もったいないを、もういちど。」というロゴを入れまして報告書にしております。

このウェブアンケートを実施した結果なんですけれども、グラフのところをざっと見ていただきますと、年代的には30代、40代、50代、60代、それから70代と、右から時計前に順番に回ってきてまして、ほぼ全世代を網羅していると。それから、お住まいについては、一番大きな212件が日野市です。それから59件、国分寺市はアンケートの集計のタイミングの問題で数が少なかったようですけれども、それから、小金井市168件というぐらいの割合であります。

それから、食品ロスを知っていましたかという方は、98%の方が言葉としての食品ロスは理解している。

それから、気をつけて取り組んでいることがありますかというのは、92%、467件の方が何がしかの取組を行っているというお答えをいただいております。

次のページに設問4で気をつけていることがあると答えた方の割合なんですけれども、表の一番下で合計505人のうちの92.5%の方が取り組んでいると言っておりまして、そのときの気をつけていることの内容の主な項目が設問5-1、その下に書いてあります。

それから、その次のページに行きまして、その他といういろいろな回答をいただいておりますので、その件数を個別にどういった内容、お答えがあったかというのを書き出してあります。

次のページに行きまして、問5-2ということで、気をつけている、取り組んでいることがないという方にお伺いしているんですけれども、取り組めそうなものを全て選択してくださいということで、やはり一番多いのは、買物前の食材のチェックだとか、消費期限のチェック、こういった項目が上がっております。

それから、食品ロスを減らすことに取り組みにくい理由は何だと思えますかというのに対しては、必要性が分からないとおっしゃっている方が43人、経済面、買いだめする傾向が強い、これが圧倒的に多くて、経済的な理由でつい安いときに買ってしまおうということなんでしょう

か。309人という方が回答されております。

次のページに、また、その他における主な回答ということで書いてありますが、その一番頭に9件と書いてありますが、食べ物を捨てるのはもったいないという意識が低いというふうにお答えいただいている方が見られます。こういったことが次の対策に必要な項目につながっていくのかなと思っております。

それから、フードドライブについても幾つか項目が上がってまして、日程が平日しか受け付けていないだとか、場所がどこに持っていけばいいかわからないというようなお答えをいただいております。

下のほうに行きまして、行政による啓発というところで、食品ロスを減らすことによる経済的メリットまたは食品ロスによる経済的デメリット、これをもう少し周知したらどうだというような御意見が多く見られました。

次のページに行きまして、子供への教育みたいなところで、食べ物を捨てるのはもったいないという意識づけを行うというような項目が多く出ております。

家庭での取組として、必要なものだけを買うというお答えも多くいただいております。

その次のページに行きまして、小売店での取組、これはどちらかというと私たちが直接働きかけるというよりも、市、どちらかというと行政が小売店の方々にメッセージを発信していただくということになるかと思うんですが、市民的には、少人数向けのばら、量り売り、小分け、少量パック、こういったもののニーズが非常に高いというような回答が得られています。

下のほうで、フードドライブの活用というところで、身近にあって、もう少し利用しやすいようにするという御意見をいただいております。

次のページに行きまして、設問8で、食品ロスについてあなたが知りたいことはありませんかというのに対しては、156人から回答がありまして、企業あるいは事業者から出てくる食品ロスの量、あるいは市民から出している食品ロスの量、こういったもの、それから、賞味期限・消費期限の違いだとか、先進的な取組を知りたいというような声が多く聞かれております。

これらのことを全体的にまとめて、次のところにアンケート調査結果に基づく提案ということで書いてございます。6つの項目に分けていますが、1つは自治体による啓発ということで、食品、食べ物を捨てるのはもったいないということを繰り返して訴えて、食品ロスの削減意識を高める。

1つ飛ばしまして、食品ロスを減らすことによる経済的メリットまたは食品ロスによる経済的デメリットを周知する。

2番目に、家庭での取組として、直接廃棄を減らすという観点から、適切に保存する、あるいは賞味期限・消費期限をチェックする。それから、賞味期限を過ぎてもすぐに捨てずに食べられるものは食べるようにする。必要なものだけ買う。

食べ残しの削減ということで、料理を作り過ぎない。余った料理を別の料理に作り替える。

過剰除去の削減ということで、エコクッキングの勧めというようなことを書いています。

意識づけということで、子供に好き嫌いなく食べることの重要性を教

える。子供のときから食べ物を捨てるのはもったいないという意識づけを行うということがあります。

小売店での取組、これは先ほども言いました行政から小売店に向けてのメッセージになると思うんですけども、期限間近の商品は値引きして売れ残らないようにする。少人数向けの小分けの選択肢が提供できるようにする。それから、売れ残り、廃棄物が出るほど在庫を持たないというようなこともうたっています。

4番目に飲食店での取組なんですけど、量を少なめに注文できるようにする、あるいは食べ残した料理を持ち帰れるようにするということ。

5番目にフードドライブの活用の促進ということで、フードドライブで回収した食品の利用のされ方などを周知してほしい。どういうふうに、どこに使われているのかというのがやっぱり伝わっていないのではないかと、こういう項目を上げています。それから、フードドライブの開催場所や開催頻度の拡充を図る。こういった項目をこれからも対策を検討する上で念頭に置いて進めていく必要があるんじゃないかという提案でございます。

特にこの中では、自治体による啓発、それから、最後の5番目のフードドライブの活用促進、こういったところは行政がある程度引っ張ってやっていただきたいと思っているんですけど、2番の家庭での取組も行政としての呼びかけが必要かなと思っています。

あと、11月のこの会議で御意見をいただいています、1つは、たしか各市の現状の食ロス対応の取組にアンケートの結果を重ねて見れないかというお話があったんです。これは各市のホームページで食品ロスということで検索をしてみますと、実はかなりばらつきがあります。実は今回、事務局をやっている小金井市、それから私自身も小金井市民ですけども、小金井市もそういう意味での食ロスで引っかかってくる部分がかかなり少ないと。3市の中では日野市が一番多いんですね。そういうところに行政としてのスタンスというか、食ロスに対する取組の距離感というものもあるのかなと。小金井市は頑張らなきゃ駄目だなというのが、全体として、このアンケートを通して見た結果からも言えるんじゃないかと思っています。

それからもう一つ、御意見で言われたのは、食品ロスはお金のロスですということで、市民にもう少し訴えたらどうか、訴えられないかという御意見もいただきました。これにつきましても、先ほどのメリット・デメリット、食品ロスによるデメリットをもう少し具体的に市民に提示していけないかと思っています。これも重要な点じゃないかなと思っています。

全体の御報告は以上でございます。

宮脇委員長

御説明ありがとうございました。それでは、ただいま御紹介いただいた減量グループの内容につきまして、御意見があればお伺いしたいと思います。よろしく願いいたします。いかがでしょうか。質問または御意見などということをお願いしたいと思います。

林委員（小）

ちょっと弁解だけさせていただきますと、小金井市が少ないというのは、食品ロスというワードで引っかかってくるものが少なくて、多分、取組が少ないわけではないと思っています。ただ、全体として食品ロスというくくりで、そういう名の下にいろいろな取組が行われている

宮脇委員長	<p>わけですけれども、その辺をきっちりと整理した、そういう市民へのアピールの仕方が不足しているのではないかなという気がして、市のほうにはぜひともそういった全体の体系の整理をお願いしたいなと思っています。</p> <p>ありがとうございます。おっしゃるとおりで、こんなことを言うといけないんですけれども、多摩地区というのは、正直、全国区でいえばトップレベルというか、市民の意識の高さも非常に高く、実際、数値でも非常にゴミ排出量も少ないですし、資源化率も高い状態ですので、その中での差異がちょっとあるという林委員の御発言じゃないかなと思います。ただ、おっしゃるとおりで、食品ロスが多面的な意味があって、直接我々が生み出す、もったいないとか、食べ物を粗末にしちゃいけないよねとか、そういう精神的な話もありますけれども、世界的に見れば、全世界の人口からすると食品が足りない、そういう世界の中で、日本はまだ余裕があっていいのかとか、ちょっと遠い、全地球人的な、そういうところの意識を市民も持ち始めると、少しまた違ってくるかなんていうふうに私なんかも思っているんで、今おっしゃっていただいたとおりで、市民への啓発とか、地味ですけども、丁寧にやっていくというのが大事なかなと私なんかも思っている次第です。私の中からすると、決して差はないと思っていますので、逆にそれぞれの市で相互に意見交換などをしていただいて、水銀キャンペーンもそうですけれども、食ロスも3市で一緒に取り組めるような、やっていますみたいなのをやると、少し広報的にもいいのかなと。仲間と一緒にやっている活動というのは訴えられるんじゃないかなと思った次第です。今ちょうど林委員からのお話で、非常にいい内容だったなと思いました。ありがとうございます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか、細かなところでも。</p>
小野寺委員	<p>このアンケートの結果、これから言えることは、今まで3市の食品ロスと削減についていろいろ啓発活動をやっているわけですけども、その場合、3市に限らず、多摩地域の自治体に共通するものなんですけれども、大体決まり切ったようなフレーズを使っているケースが多いんですよ。その点で、例えば問6の自由記述の内容が非常に新鮮に感じるんですけども、今まで使われていないようなフレーズで、一般市民の方々がこういうことを訴えていったらいいんじゃないかとか、そういった今まで考えつかないようなフレーズを提案してくれているというのは、今回のアンケート調査の大きな収穫だったんじゃないかと思います。</p> <p>ぜひこの辺の今までの使われているフレーズに加えて、もっと市民にインパクトを与えるようなフレーズを使った啓発活動を、この辺を参考にしながら今後やっていただきたいなと思います。よろしく願いいたします。</p>
宮脇委員長	<p>御提案、本当にありがとうございます。まさにそのとおりでかなと思います。ありがとうございます。</p> <p>自由記述のところが入った報告がウェブ上で広く市民の方に届くといいなと思いますね。もちろんここからいいフレーズを抜き出して、どんどん次々出していくというのも1つだと思いますし、全体的にこれを</p>

<p>八ツ藤委員 (国)</p>	<p>何となく市民の方が見ていただくと、こんなこともあるんだと、いつも気がつかない点に気がつくとか、そういう意味で、非常にいいまとめ方になっているなど私も思いました。ありがとうございます。</p> <p>国分寺市の八ツ藤ですけれども、非常にいい資料なので、いかに有効活用するかという観点で考えたほうが良いと思うのです。私どもですと、推進委員会で、市民の皆さんにいろいろごみの減量とか資源化でやっているの、できるだけこれを使って、市民の皆さんはこういう意識ですよとか、こういうことを思っていますよとか、そういうことを啓発活動の1つの材料に使いたいと思っています。</p> <p>特に、インターネットなんか見ますと、こういう資料がいっぱい出てくるのですけれども、必ずしも多摩地域とかということに限ったところではなく、全然違うところの統計が多いものですから、やっぱり3市で、しかも去年の10月にやったということで、非常に説得力があると思いますので、これをぜひ使わせてもらいたい。</p> <p>それからもう一つは、10月は皆さん御存じのように、全国的な食品ロス削減月間になっておりますので、そこで我々としてもごみの情報紙も出しているのです、10月15日号。そこにも市民アンケートはこうでしたよと、ある意味では的を絞った形で出したほうがいかなと思っておりますので、ぜひこれを有効活用するという観点で考えていったらいいと思っています。</p>
<p>宮脇委員長</p>	<p>ありがとうございます。ぜひぜひいろいろなところで活用していただく。ホームページに載せるのも大事ですし、それ以外にも、今おっしゃっていただいたように、市民向けの活動とか、行政が関わっているような会で、事あるごとにいろいろなメンバーの方に目を通していただくという形でもいいかなと思いました。ありがとうございます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。大体よろしいでしょうか。</p> <p>非常に重要な内容かと思えますし、今、御意見をいただいたとおり、市民へのアピールをしてほしいとか、内容の部分をいろいろな場所で活用してほしいとか、資料自体をあちこちで使っていきたいというような御意見だったかと思えます。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、全体的にもう追加事項はなさそうですので、この辺りだと思いますけれども、私の感想は今たくさん述べてしまいましたけれども、本当に2年間、人数的には少人数で集まっていたいただいて、丁寧に作業をしていただいて、本当に私からも感謝以外の何事でもないというぐらいで、いい成果が出ていたなと思えます。前期もそうだったんですけれども、今期2年間で非常に大きな成果を出していただいたなと思っております。あとはこれを3市の行政できちんと受け止めていただいて、十分な活用をしていただきたいというところがございます。本当にありがとうございます。</p> <p>それでは、次の議題に参りたいと思います。また最後に何かあれば、追加で御意見いただければと思いますけれども、最終報告の取扱いについて、今日御報告いただいた内容についてのことでございます。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>最終報告の取扱いについてでございますが、両グループの成果につきましては、浅川清流環境組合の管理者である日野市長へ、各グループの</p>

宮脇委員長	<p>リーダーから直接手渡ししていただきたいと考えておりますが、日程調整等の手続に入らせていただいてもよろしいか、お伺いをさせていただきます。</p> <p>今、事務局により確認がありましたけれども、成果物をそれぞれのグループで作っていただいているんですけども、これについて、形式でもあるし、非常に重要な内容でございますので、日野市長に直接手渡しをしてほしいと。浅川清流環境組合の管理者ということになっておりますけれども、この内容の提案について、御意見があればお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。いかがでしょうか。</p>
八ツ藤委員 (国)	<p>今までは委員長でしたよね、市長に渡されていたのは。</p>
宮脇委員長	<p>いや、今まではリーダーでしていただいていたかと思います。ただ、直近はコロナの関係で、多分対面でやっていなかったんじゃないかと思ひます、過去3年以上。</p> <p>私も立ち会ってというふうな形だと思ひますので、私も一緒だと思ひます。よろしいでしょうか。今、グループのメンバーのリーダーの方、お二方ともいらっしゃるので、代表ということで、各グループからいかがでしょうか。大丈夫ですかね。</p> <p>では、もしよろしければ、日程について決めていただくということかと思ひますので、事務局のほうでその先、別途していただいてもよろしいですか。</p>
事務局	<p>それでは、日程でございますけれども、できる限り3月中に行いたいと考えておりますけれども、場合によっては4月になる場合も考えられますので、その際は任期が終了しておるんですけども、グループリーダーにおかれましては、御理解、御協力をお願いできればと思ひます。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。ちょっとお手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。</p> <p>それでは、その他でございます。今期2年間、皆様にいろいろな活動をたくさんしていただいたんですけども、一旦これで今期終了ということになりますので、これまで2年間活動された内容について、一言感想などをいただければと思ひますので、順番でよろしくお願ひいたします。</p>
栗原委員 (国)	<p>国分寺市のごみ減量推進課長の栗原です。2年間、本当にありがとうございました。</p> <p>情報発信・環境学習グループについては、浅川の見学の小冊子がこのような形で立派なものできたということで、小委員会の中でこういったものが出来上がったということについて本当にうれしく思っているところでございます。</p> <p>減量グループについては、2年間のうち、前半、私のほうもアンケートを取る前段で、コープさんとの共同で何か事業ができないかといったところの部分で、いろいろ私のほうも調整というふうな形で取り組んできた経過がございまして、結果として食品ロスのアンケートというような内容が出来上がったということで、ちょうど今、国分寺市については、</p>

資源プラスチックの中身、容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括で収集して有料化していくといった取組を進めているところなんですけれども、食品ロスというところの部分については、例えば買物に行ったときにお弁当を買ったりすると、プラスチックが廃棄物として出てくるような状況もあったりするようなところがありまして、今ちょうど説明会をやっているところなんですけれども、食品ロスという視点から、そういったところを買い控えろというふうには言えないですけれども、自分で作ってという形で、プラスチックが発生しないようなところで、食品ロスの観点から投げかけるようなこともできるのかなといったところを、改めてこの結果を見て言えるのかなと思った次第でございます。

本当に2年間、振り返るとあつと言う間という形で、これだけのものが出来上がったということで、本当によかったなと率直に思っているところでございます。

以上でございます。ありがとうございました。

八ツ藤委員（国）

国分寺市の八ツ藤です。この第3期、この2年間ですけれども、先ほどちょっと申し上げましたように、令和4年7月のスタート時点に行政のほうから冊子を作らしようということで、我々としては望んだ回答が出ましたので、この2年間というのは、皆さんにお配りした冊子の作成作業にある意味では終始したかなと思っております。

私は、第3期の情報グループのリーダーということで指名されたので、特にこの冊子を作ることにについては責任の重さを痛感しておりましたが、情報グループの皆さんの御協力、それから行政委員の方、先ほど申しましたように、特に事務局あるいは組合の御担当の方、大変な御努力によりまして、今日、皆さんに完成したものをお見せすることができたということで、大変うれしく思っております。

これからは、先ほどもちょっと申し上げましたが、3市の児童が、連携するあるいは親しみを持つとか、そういう観点と、この冊子を補助教材としましてぜひ有効に活用していただいて、3市の環境問題にも関心を持って、さらに自分なりの考えで行動していただければというふうに切に願っております。

本当にいろいろありがとうございました。

石垣委員（国）

国分寺市の石垣です。今回の2年間は、もう一回やってくださいと言われて参加をさせていただいたんですけれども、子供が病気をしたり、私が病気をしたりと、なかなか参加ができなくて申し訳ないと思っております。

減量グループに参加をさせていただきまして、このアンケート結果とかを見て、食品ロスを減らすことに取り込みにくい理由というものを見て、確かにそれはそうだなというのをすごく痛感した、やっぱり経済面を優先し、買いだめをする傾向が強いというのは、特にこのところ物価が上がっていますので、余計に何となく、特売だと思えば余分に1個買ってしまったりというのは、人間の心理としてあることだと思ってるんですけれども、これは本当に今日使うかな、あした使うかな、あさって使うかな、食べ切れるかなということを考えるきっかけにもなると思うので、できればこのアンケートは本当に有効活用していただきたいと思っております。

2年間どうもありがとうございました。

森田委員（国）

国分寺市の森田でございます。私は、こちらの処理施設の小冊子のほうで2年間お手伝いをさせていただきました。仕事をしていますので、スケジュールを調整してこちらを優先的にやってきたつもりですが、お役に立てたかどうかは疑問なんです、いい経験をしてきたなと思います。毎回、色遣い、言葉遣い、それから、細かいところまで皆さん本当に感心するぐらいチェックをなさって、やっとできた冊子ですので、とても思い入れがありますので、皆さん、どうもありがとうございました。

それと、私は商売をしていまして、消費者というよりも営業のほうから食品ロスのほうも参考になります。今、石垣さんがおっしゃったように、特売とかそういうのをして消費者に買っていただく立場でありますので、売れないと、やっぱり商売にならないので、そういう発想で物事を考えておりましたけれども、売り方とか、梱包の仕方とか、在庫なんかでも細かく切って売るとか、そういうことをちょっと考えてみようかなとか、お店の立場としてごみをなくす、ロスをなくすということをやっと考えてみたいなと思いました。これもとても参考になりました。

どうもありがとうございます。

佐藤委員（国）

国分寺の佐藤です。減量グループでずっと活動してまいりましたけれども、初めに立てた目標、小野寺さんを中心に10年間で半分に減らそうと、それに向かって必死でやってきた感じですけども、こういう形で3市共同のアンケートがこういう形でできて、これもほかに活用したいという声を聞いて、本当にやった人は大変だったと思いますけれども、一区切りの結果ができたかなという感じがします。

そして、このアンケートの結果ですけども、どんなことに取り組んでいるかとか、自分ができそうなのは何ですかとかいう細かいチェックで、やっぱり見ていると、多い順からすると、一般的に言われている買物に行く前には冷蔵庫をチェックしようとか、賞味期限と消費期限はきちっと理解して、食べられるものは食べよう、捨てちゃいけないという、そんなことが今はよく理解しているなと思いました。ただ、そう思っても、実際にやるかやらないかはそのときの気持ち次第というか、やはり心が大事だなと。

それで、初めて出ていたこのキャッチフレーズ、「食べものに、もったいないを、もういちど。」って、このもったいないというのは一時、アフリカから来た女性の環境活動家、マータイさんですか、もったいないという言葉はすばらしいと、大分前ですが、ありましたけれども、もったいないという気持ちで、最終的には一人一人のその瞬間の気持ちが食品ロスの削減につながるんじゃないかなと。先ほど経済優先になると、どうしてもいっぱい買っちゃおうと。そんなときにほかで見た書類にありましたけれども、買物に行くときは空腹のときは行かないと。空腹だと何でも買いたくなっちゃう。満腹のときは多少冷静に考えられると。なるほどなと思ってその記事を読みましたが、やっぱりこれからは心と知恵を働かすというか、知識がいっぱいここで吸収できたと思います。

あとは、その知識をどう自分の生活に生かすか、それぞれの立場でそれぞれの環境で知恵を働かせて、何としても頑張っていきたいなと、そんな決意を固めながら今日の会に参加いたしました。本当に皆さんにお

林委員（小）	<p>世話になって、ありがとうございました。</p> <p>そして最後に、情報、すごいのができたなと思って、こちらには一緒に活動しなかったけれども、お見事というか、そんな感じで、まずは両方こういう資料ができて本当によかったなと思っておりますので、またどうぞ、後を継ぐ皆さん、よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。ありがとうございました。</p> <p>減量グループのリーダーを務めさせていただきまして、2年間、初めの1年ぐらいは違う方向でいろいろと減量施策をアピールする方策を模索したんですが、なかなかそれがまとまらなくて、実質的にこのアンケートでスタートしようといったのが去年の春先ぐらいですね。それから急激に立ち上げて、10月のアンケート実施に持ち込んで、報告書をまとめるという形になりました。行政側委員のお力にかなり依存してきた成果だと思っています。</p> <p>アンケートの結果を、実はもう少し時間をかけて、それぞれの項目を、さらにこれを変えるにはどうしたらいいかという議論を進めて、特にこの中でこれについてはこういう形で広報していこうというようなことを進めていく必要があるのかなと思っていますので、今回のこの資料が、今お話にあったようないろいろな形で利用していただければ、それはそれでとてもうれしいことなんですけれども、さらにこれの中身を具体化する、何をどうやってアピールしていけばいいかというような検討を、今後もこの市民会議の中で議論していただければいいかなと思っています。</p> <p>どうも、皆さん、御協力ありがとうございました。</p>
齋藤委員（小）	<p>小金井市の齋藤です。情報グループということで、前期から参加させていただいて4年目になると思うんですけども、ちょうどその前期のときにこの可燃ごみ処理施設ができたときで、何か情報発信したらいいんじゃないかということで始まったと思うんですけども、このような形にちゃんと小冊子になったということは、本当に八ツ藤委員がたたき台を何回も何回も作っていただいて、それに対して行政の方や作る方が御苦労されたんだなと思って、本当に感謝申し上げます。</p> <p>便利な世の中になって、働いている方がとても多くて、お母さんも忙しくて、簡単に食品が手に入るということでは時代なのかなと思うんですけども、でも、体というのは食べたものでできているということから、本当に食事の大切さを考えながら、食品ロスということも自分から何か発信できればいいなと思ったこの4年間でした。</p> <p>ありがとうございました。</p>
小野寺委員（日）	<p>私、減量グループの小野寺です。ほかの方からも先ほど説明がありましたけれども、減量グループでアンケートをやろうというのは2年目に入ってからなんですけれども、市民の方々が本当に熱心に回答してくれて、本当に大きな成果だったと思います。この内容は、行政の人たちがこれからどういう施策を立てたらいいとか、あるいはどういう啓発をやっていたらいいかという部分があるわけなんですけれども、この3市は、多摩地域がごみ減量だとかリサイクルの先進地域なわけなんですけれども、その中でもこの3市が本当に先を行っているわけなんですよね。今後、こういったアンケート結果を生かして、これからも多摩地域全体</p>

<p>加納委員（日）</p>	<p>をリードするぐらいの意気込みで頑張っていければなと思っています。よろしくお願いいたします。</p> <p>それから、私ごとですけれども、今まで3期6年間、この委員をやらせていただきました。私も今年88歳になりまして、もう一期やれば90になっちゃう。それともう一つ、最近、肺炎にかかりまして、体力的にもちょっと限界かなという感じもありますので、これで委員を辞退させていただきたいと思っています。あとは皆さんに期待していますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>日野市の加納です。情報発信グループに加えていただいて、本当に何の役にも立たなかったと思います。八ツ藤さん、本当にありがとうございました。私が見て、すごく参考になる、小さなお子さん、小学生だけじゃなくて、とてもいい冊子ができたと思います。本当にありがとうございました。</p> <p>私は、日野市の協力の下に、ひの市民リサイクルショップ回転市場という活動に加わっているんですけども、食品ロス、フードドライブのところで、スーパーにあったらいいというのがあって、その回転市場はスーパーいなげやさんの2階に市が場所を提供してくださって、そこでやっているんですけども、フードドライブもそこでずっと何年もやっているんですね。本当に少しずつですけども、持ってきてもらっているんで、そういうアンケートの結果を見て、一応貼り紙をしてあるんですけども、ちょっと目立つように、フードドライブ、ここでやっていますということを掲示してもいいのかなと思いながら、とてもいいアンケート結果で参考になりました。ありがとうございました。</p>
<p>小澤委員（日）</p>	<p>日野市ごみゼロ推進課長の小澤でございます。この4月に異動してきました、皆さんとは1年しか御一緒できなかったんですけども、非常に勉強になりました。</p> <p>先ほど小野寺委員からお話がありまして、多摩地域は非常にごみの減量意識が高い。その中でも先進的なこの3市、一人当たりのごみ量も非常に少ない3市ということで、その中でも意識の高い委員の皆様と御一緒できたこと、非常に感謝申し上げます。</p> <p>次期については日野市のほうが事務局という形になります。いろいろ御意見を頂戴しました。その思いをしっかりと受け止めて、来期、続けていきたいと思っています。2年間、ありがとうございました。</p>
<p>鈴木委員（浅）</p>	<p>浅川清流環境組合の鈴木でございます。私も前任を引き継いで、昨年の4月からこの委員会のほうに参加させていただくような形になりまして、主に情報発信グループのほうに出ています。入ってから、グループのほうでパンフレットを作るというのが今年度の目標というところを引継ぎでも受けていまして、なかなか作るのは大変だなと昨年の4月のときは思ったところですけども、おかげさまで、八ツ藤委員さんをはじめとして、ほかの委員の方々ですとか事務局の方、それから本日はいらっしゃっていませんけれども、コモダ印刷さんも校正作業なりグループの検討会議にまで参加いただいて、そういったこともあったおかげで非常によいものができたのかなというところで、今日皆さんからお褒めの言葉をいただいているところで、私としても非常によい経験になったなと思っています。</p>

今回、こういったものができたのを踏まえまして、組合のほうで今年の4月以降、こういったものをこれから使っていく、生かしていくというところが1つ、これからうちの組合の大きな仕事かなと思ってございますし、またこれ、何年かたってくると、当然、メンテナンス作業も必要になってくるかと思っておりますので、そういったものも適正に引き継いで、今回できたせっかくよいものを、今後、次の世代を含めて残していくというところが1つ私に課せられた課題かなと思ってございますので、そういったところも含めて、この成果といったものをこれからも生かしていければと思っております。

改めまして、2年間、皆様、お疲れさまでございました。

今井委員（小）

行政委員で、小金井市ごみ対策課長の今井と申します。このたび、この2年間につきましては、私、着任して早々、この3市ごみ減量推進市民会議の事務局、幹事市として引っ張っていかるところの任を授かりまして、大変重責を感じていたところです。ただ、この2年間、皆様の厚い御協力もありまして、何とかパンフレットとウェブアンケートの調査結果報告という形で成果を取りまとめることができましたのも、ひとえに皆様の御尽力のおかげと感謝をしております。本当にありがとうございました。

このたびいただいたウェブアンケートの調査結果など、先ほど各委員から御意見賜りましたように、しっかり活用していかないといけないなと強く感じているところです。というのも、自由記述の意見をこれからのようにウェブサイトで公開していこうかということは、ちょっと課題ではあるんですけども、そのご意見の中に大変大きなヒントを行政側としてもいただいているなと感じておりまして、これをどのような形で施策として反映していけるか、こういったものは3市共同でこれからも取り組んでいかねばならないと考えてございます。

また、パンフレットにつきましては、浅川清流環境組合さんのほうで予算を獲得していただくなど、非常に御尽力賜りまして、先ほど鈴木課長からもお話がありましたように、引き続きメンテナンスをしながら、よりよいものにしていけるように行政として協力してまいりたいと思っております。

改めまして2年間、本当にありがとうございました。

宮脇委員長

皆さん、ありがとうございました。

私のほうからも一言だけ。先ほどもちょっと申し上げましたけれども、正直なところを申し上げまして、感謝というこの2文字だけでございます。私とお会いするのは本当に全体会のときの年2回だけなんですけれども、なので、2年間で4回、皆様とお会いして中間報告をいただいております。その中で、皆様方が小委員会、各グループで何回も議論を尽くしていただいて、細かなところまで確認をしていただいて進んでこられたということに本当に敬服したところでございます。

また、幾つか御意見がありましたけれども、コープの件とか、かなり力を入れていただいたところですけども、うまくその先にはつながらなかったところもあるんですけども、逆に失敗は成功の母と申しますが、お互いうまくやりたいとか、非常に興味があると言っても、いろいろな事情でなかなかつながっていかないということはあるんですけども、その議論の中で、多分、コープの方々もそういう取組もあるなど

	<p>いうところで、この会議とは直接関係なくても、またあちらの団体でも様々な取組に発展的につながっていているんだと思うんですね。決して今回この会議の中としてのコラボレーションはできなかったんだけど、うまくそれぞれ発展していくし、こちらの委員の方も直接担当されているいろいろな交渉に行っていたりとか、話合いに行っていたいていると思うんですけども、その中で、ここには出てきていない、成果としてはまとまっていないんですけども、各委員の中で非常に重要な経験になって今後つながっていくんじゃないか。すぐに花開かないけれども、時間をかけてその成果が次々と広がっていくんじゃないかなと感じた次第です。</p> <p>あと、情報発信のほうも非常にいい冊子ができていて、これが小学生に伝わっていただくとということと、小さくですけども、3市ごみ減量推進市民会議というキーワードが、目立たないようにですが、小さく入っております、これはこれで、例えばこれを持って帰っていただいた小学生の方が、親御さんがこういうのに行っているんだ、いろいろやっているんだねとちらちらと見たときに、ふと最後のページを見ていただいたときに、そういう集まりがあるんだ、そういう活動をしているんだというところで、3つの市で市民も連携しているというところがこの小さなところに表れているというところが、私としてはすごく大きなところじゃないかというところがございます。</p> <p>何となくの感想になってしまいましたけれども、本当に感謝させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、全体としまして何か御発言、よろしいでしょうか。</p> <p>すみません。私、忘れていました。小野寺委員から1つ、黄色い冊子の部分、広報なので、申し訳ございません。よろしく願います。</p>
小野寺委員（日）	<p>ごみ・環境ビジョン21という市民団体がごみ大学セミナーというのを毎年3回ぐらいやっているんですけども、今度2月24日の土曜日に開催します。テーマは、古紙の分別排出促進と回収円滑化のための課題となっていますけれども、古紙の分別排出をいかに進めるかということとはなかなかアプローチが難しいということで、あまり取り上げられなかったんですけども、何とかこういう切り口を見つけてやってみようということで、講師も適任者を選んだつもりなので、もし御都合がございましたら、ぜひ御参加をお願いしたいと思います。よろしく願います。</p>
宮脇委員長	<p>小野寺委員、ありがとうございました。非常に重要な紙の件ですね。可燃ごみの中に紙がたくさん混入していて、解決策がなかなかない大きな課題だと思いますし、山谷先生は非常に著名な先生でございますので、もし機会があればということでございますが、どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございます。</p> <p>それでは、全体の議論、終了とさせていただきます。本当に皆さんどうもありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。よろしく願います。</p>
事務局	<p>本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございました。現委員の任期期間中の会議は本日をもちまして終了となります。委員</p>

の皆様には、会議の運営、進行等に御協力いただきまして、感謝申し上げます。今後につきましても、引き続き、3市のごみ減量施策等に御注視いただきまして、御意見をいただければと思いますので、今後もどうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、これもちまして、令和5年度第3回3市ごみ減量推進市民会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。